

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

公表：令和4年 3月 3日

事業所名 ひまわりルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・運動、ゲーム、感覚遊びなど活動に合わせて部屋を分けて使用している	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・基準の配置人数よりも多く配置している	
	3	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・計画書の作成を通して、職員全体に目標や支援内容の統一を図っている	
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・さゆり会のHPで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・島内外のリモート研修に参加している	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・アンケートや聞き取りにてアセスメントを行い、作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・必要に応じて、新版K式発達検査やWISCなどを用いて定期的に評価をしている	

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・記録後に次回の計画立案を行う	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・サーキット内容は毎回変えており、ゲームや感覚遊び、工作なども目的に合わせて変えている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		・休日や長期休暇のように利用時間が長くなるときには、通常の活動に加えてドライブに言ったり公園に遊びに行ったりする。また、夏にはプールなども実施する	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・療育前に必ず、打ち合わせをする	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・必ず、チームで記録をし、次回の立案まで行っている	
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・6ヶ月に1回、支援計画を見直し、作成している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行なっているか	○		・学校から行事や送迎時間の変更などについてメールやFAXが送られてくる・送迎時に担当の先生にその日の様子を確認する	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・現在は対象となる児童がいない
	23	就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・多機能型なので児童発達支援からの移行に関してはスムーズに行えている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しようとしているか	○		・卒後する学校からの情報提供があるため、積極的には行っていない ・ケース会議には参加している	

関 や 保 護 者 と の 連 携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	・こども医療福祉センターの地域支援を利用している ・巡回療育相談にも参加している	
---	----	---	---	---	--

携	26	放課後児童クラブや児童クラブとの交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		同敷地内に保育園の児童クラブがある。以前は園庭に遊びに行っていたが、コロナ禍で制限している	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・お迎えのとき、療育の前後、サーキット中など保護者と話す時間を意識してとるようにしている	・月1回の利用頻度のお子さんはこまったときにすぐに話さずに時間が立ってから話すことが多い。面談以外でも保護者と連絡が取りやすくなる形を考えていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・ペアレントメンターなどを利用したいと考えているが、コロナ禍で利用できていない	
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約のときに伝えている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・月1回の利用頻度のお子さんはこまったときにすぐに話さずに時間が立ってから話すことが多い。面談以外でも保護者と連絡が取りやすくなる形を考えていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・SNSの活用 ・あゆみ通信の配布	・今後は五島地区の保護者向けの研修会などを通して保護者同士が繋がることのできる場所を提供していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・体制一覧を玄関に提示している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・本児と家族はもちろん、関係する機関とも情報共有するようにしている ・言葉かけだけでなく、文字におこす	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ禍で行っていない	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知している	○		・マニュアルはいつでも確認できる場所に設置している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・虐待防止委員会にて虐待について、身体拘束については学び、職員間で意識を統一している	・現在、身体拘束を必要とする対象児はいない
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・保護者からの事前の聞き取りで確認している	・医師の指示書はもらっていない
	46	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・必ず共有している	